



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

令和3年10月29日発行

令和3年度

11月

祝・創立50周年

副校長 宮崎 恵子

新型コロナウイルスの感染拡大がひとまず落ち着き、世の中が少しずつ前に向かって進み始めている、そんな今日この頃。学校生活も徐々にではありますが、通常の景色を取り戻しつつあります。10月に入り、校外学習も実施可能になり、10月19日(火)には5年生が、日帰りではありましたが愛川体験学習にでかけ、クラフトや藍染めを体験してきました。また、ずっと禁止になっていた休み時間のボール遊びや図書室での読書なども解禁となり、さらに昨年度から実施できずにいた家庭科の調理実習も、感染対策を行い、来月から始まる予定です。もちろん、油断禁物、どれも感染防止対策をしっかりと行った上での再開です。学習や活動の内容によっては見合わせている活動や形を変えたままの実施が続いているものも多く、以前の学校生活に完全に戻れる日はまだ先のようなようです。それでも、全員が顔を合わせ、少しずつ日常を取り戻しながら活動に取り組む子どもたちの表情は、元気で明るく、それを見ているだけで癒やされる気がします。

さて、11月6日(土)はいよいよ洋光台第一小学校の「創立50周年記念式典」「創立50周年を祝う会」が行われます。本来なら昨年度に行う予定だったのですが、コロナ禍のため一年延期となりました。また、50周年の節目でもあり、本校に関わりのあるたくさんの方をお招きしてお祝いしたいところでしたが、このような状況下のため、規模を縮小して行うこととなりました。

今、子どもたちは、記念式典・祝う会に向かって様々な活動に取り組んでいます。各学年で会場(体育館)の飾り作りや祝う会での学年発表の準備を進めたり、児童会でスローガンに合わせた飾りを作ったりと、それぞれ50周年に思いを込めて頑張っています。また、昨年度の6年生が50周年を祝って作詞作曲した「未来へのバトン」に、今年度の6年生が続きをつくり、素敵な曲が仕上がりました。50周年を祝う会で歌うために、今、全校で練習中です。さらに学習においても、6年生が国語の学習で「今の洋一小をデジタル記事で伝えよう」という活動に取り組んでいます。先月の「学校だより」でお知らせした「タイムカプセル」に入っていた内容を受けて、今の洋一小の様子を当時の在校生に伝えたり、デジタル記事で未来の在校生に残したりしていこうという活動です。他にも4年生や第1学習ルームなどでも、50周年に関連させた作品づくりに取り組んでいます。子どもたちも、50周年を祝うこの年に洋一小に在籍できた喜びをもって、6日を迎えようとしています。

子どもたちが頑張っている式典や祝う会ですが、感染対策上、保護者の皆様に参加していただくことができず、申し訳ありません。6日の帰宅後、ぜひ子どもたちから話を聞いてください。



準備を頑張る子どもたち

創立50周年を迎えた歴史ある洋光台第一小学校。50年間支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、この日を迎えることができました。これまでのご支援に心より感謝申し上げますと共に、今後とも本校へのご理解、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。